



— 日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊 ニュース

2010年6月6日 No.710

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

日本の「宝」

町工場の支援急げ

仕事なく単価切り、継続は困難…



旋盤の加工賃は20年前から変わらないと話します。(写真と記事は関係ありません)

中小企業支援は喫緊の課題。日本共産党品川区委員会と区議団は区内の町工場を訪問し現状と要望を調査しています。これまでもおよそ200軒を訪問。「仕事がなく単価もたたかれ、このままでは仕事を続けられない」など深刻な声も寄せられました。

トヨタ自動車など一部大企業は業績回復というものの、地域に景気回復の実感はまったくありません。私が訪問したある町工場(二葉三丁目)は工場を借りて旋盤とフライスで金属加工業をしています。「仕事は増えず単価切りがひどい、倒産寸前だ」と訴えました。話の最中に発注の電話が入りましたが断ってしまいました。話を聞くと「単価500円の仕事だったが、そのうち材料代が400円で発注は4個だけ。10個なら引き受けようと思ったが、電気代を損するだけだ」と怒っていました。

品川は中小企業の街。日本共産党品川区議団は、緊急策として町工場の家賃や機械リース代の補助を提案してきました。

党が懇談 共産が懇

町工場の危機打開へ 4つの提案をしました

日本共産党は5月26日、大田区産業プラザで「下請・中小企業懇談会」を開催。大田・品川など首都圏から工場経営者ら350人が参加しました。志位和夫委員長が行った町工場の危機打開の提案(概要)を紹介します。

志位和夫委員長は「町工場、中小企業の集積地は日本の製造業を支え、かけがえのない日本の宝。町工場の灯を消してはならない」と強調。危機打開へ4点の提案を行いました。

①大企業と中小企業の公正な取引ルールをつくることです。

大企業は、好況のときは下請けに連日徹夜させ、不況になると発注しない、異常な単価切り下げ—こうしたシステムを直すことが必要です。

②「中小企業憲章」の制定です。大企業中心の産業・経済対策を転換し、中小企業を日本経済の

根幹に位置付けて本格的振興をはかることが必要です。

③仕事を増やすために経済システムの改革が必要です。大企業の過剰な内部留保と利益を雇用と中小企業、社会に還元させ、日本経済を内需主導の発展軌道にのせることです。

④緊急対策として町工場の家賃、機械リース代などへの直接補助です。日本共産党の要請に、政府は機械設備リース代金の支払い猶予に応じるようリース会社に要請しました。第一歩ですが、直接支援が必要です。



志位委員長の提案を受けて、大田工業連合会舟久保会長は「待ち工場」ではなく、腕に確信を持って積極的に広げることが大切」。大田区産業振興協会山田専務理事は「町工場の熟練の技術はすごい。仕事の掘り起こしに取り組んでいこう」。不況打開大田区実行委員会幹事の馬場さんは「政府、自治体が

中小企業を守る立場に政策を転換すべき」と発言。会場からも発言が相次ぎました。小池晃参院議員は閉会あいさつで「中小企業の願いを国政に反映させたい」とのべました。

無料
弁護士が対応
法律相談は
6月18日(金) Pm 6:30
みやざき克俊事務所
生活相談は随時受付

品川区議会

新年度の区議会委員会構成が決まりました

今年度、日本共産党議員団の役職と各議員の担当委員会を紹介します。◎は委員長、○は副委員長です。

常任委員会

- 総務 みやざき克俊
- 区民 ○菊地貞二
- 厚生 ○中塚亮・南恵子
- 建設 安藤泰作
- 文教 飯沼雅子

議会運営委員会

- 南恵子・みやざき克俊

特別委員会

- 行政改革 菊地貞二・安藤泰作
- 環境対策 ◎飯沼雅子・中塚亮
- 日本共産党区議団
- 団長 南恵子
- 副団長 菊地貞二
- 幹事長 みやざき克俊